

平成 23 年度 第 1 回帯広市総合計画策定審議会 議事概要

1 日時

平成 23 年 9 月 7 日 (水) 19:00～21:00

2 場所

市役所 10 階第 5B 会議室

3 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

○「まちづくり通信 2011」(第六期帯広市総合計画 政策・施策評価報告書)の案における施策評価表について

(3) その他

(4) 閉会

4 議事要旨

【会長】

今回の第 1 回目と第 2 回目の審議会の趣旨等について、事務局から説明願う。

【事務局】

帯広市としては、この 9 月の審議会では、「まちづくり通信 2011」の基になる、50 の施策評価表について、集中的に議論していただきたい、と考えている。

評価は、政策・施策の進捗状況をはかるという役割があるが、本質的な役割は、評価を通じて、市の取り組みが「市民の実感」につながっているのか、また、取り組みを推進していくうえで、「一体何が課題になっているのか」を考え、次のアクションにつなげていくことにあり、総合計画の PDCA サイクルの要として大変重要なものである。

今年度の評価に際しては、昨年 of 試行実施と皆さんからいただいた意見を踏まえた中で、各部長が評価表を作成し、政策推進部と総務部とのヒアリングを経て、お手元に用意させていただいた「案」の段階に至っている。

この後、担当の方より詳しく説明するが、今年度は、昨年の反省を踏まえ、各施策評価表の 5 の「施策の総合評価」と、6 の「施策の課題と今後の取り組み方向」の部分について、集中的に議論をいただきたく、願います。

皆さんからいただいた意見は、各部に伝え、反映できるものは可能な限り反映したいと考えているので、よろしく願いたい。

【事務局】

次のことについて説明。

- ・ 会議の進め方として、50 の施策評価表について、初日は「4-2-3 下水道の整備」まで、二日目「8-2-2 行政事務の適正な執行」まで、意見をいただきたい。
- ・ いただきたい意見としては、施策評価表の「5. 施策の総合評価」については、分かりやすい内容になっているか、「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」につい

では、課題を踏まえた取り組み方向が市民の視点から見て適当なものか、という点でお願いしたい。

- ・ その他、施策評価表の見方や総合評価のしくみについて説明。

【会長】

ただ今、事務局から話があった、議論のポイントを、施策評価表の5の「施策の総合評価」と、6の「施策の課題と今後の取り組み方向」におき、一定の時間の目安をもって、50の施策すべてについて、議論していく、ということについて、皆さんの了承を得て進めたいと思う。

今回の役割としては、施策評価表に対して、審議会として何らかの議決（答申）をするということではなく、各委員の（知見を活かした）意見を出すということで、理解願いたい。

－ 異議なし －

【委員】

議論に入る前に、成果指標の判定の考え方について、一定の基準とはどういうものか説明してほしい。

【事務局】

成果指標は、目標に対する達成率で判定することになっており、達成率の基準値に応じてaからdの区分を設けて機械的に判定しており、恣意的な考えが入り込む余地がないようにしている。

【委員】

基準値があつてのこと、ということで理解した。

【会長】

では、進めていきたい。はじめに、「1-1-1 地域防災の推進」について、事務局から説明し、これについて意見をいただきたい。

【事務局】

－ 施策の目標、総合評価の結果について説明 －
(以降、同様のため記載省略)

【委員】

5の「施策の総合評価」の7行目以降について、成果指標と市民実感度が異なっていることを記載しているが、同じことを繰り返して記載しているように見える。言い訳のような感じでなく、もっと分かりやすく記載できないものか。

【会長】

成果指標による判定がa、市民実感度による判定がc、総合評価がBとなっていることについて、どのように捉えて分かりやすく記載するかということであろう。

【事務局】

非常にありがたい意見。成果指標による判定と市民が実感していることのギャップが何なのかを現実にしっかりと押さえ、次の一手を打っていく必要がある。意見は受け止めさせていただく。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、避難支援プランによる要援護者の地域支援組織づくりを大空で先行してやっているようだが、帯広市として、どういう方向に組みを進めるのか具体的なものが見えてこない。早い時期に方向性を市民に示す必要があると思う。

【委員】

要援護者は、現実的には移動が困難な人が多い。

指定された避難場所は何百メートルも離れていたりして、辿り着くのが大変。いざというときには、指定された避難場所のほかに、とりあえずは、どこそこに集まって安否確認できるようにしよう、その安否確認を誰がする、というようなきめ細やかな対応が必要かと思う。

【委員】

防災訓練などに参加しても、小学校や中学校が避難場所になっているが、地域住民を収容できるのだろうかとか、不安がある。また、実際に訓練しても、地域は場所を貸すだけになってしまっていて、お客さんになってしまっている。実際に、地域の防災組織が動かないと、実感として感じにくい。

今、市民が一番、防災に関心がある時期であり、こうしたことが、市民の不安感につながっていると思う。防災は、とても我々に身近な問題としてあり、もう少し安心できるような方向性が示されるといい。

【事務局】

スピード感が足りないというご意見を含めて、担当の総務部に伝えたい。

【会長】

行政の取り組みと、自助・共助の連携や役割分担を分かりやすくすることが必要であろう。

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

では、次に、「1-1-2 消防・救急の充実」について、意見をいただきたい。

－ 意見なし －

【会長】

次に、「1-2-1 防犯の推進」について、意見をいただきたい。

－ 意見なし －

【会長】

次に、「1-2-2 交通安全の推進」について、意見をいただきたい。

－ 意見なし －

【会長】

次に、「1-2-3 消費生活の向上」について、意見をいただきたい。

【委員】

おれおれ（振り込め）詐欺について、消費生活相談の解決率に入っているのか。件数などは把握しているのか。

【委員】

本当の詐欺となると、直接、警察への相談となり、消費者協会での扱いにならず、件数は警察の方での把握となるのではないか。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-1-1 保健予防の推進」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、自殺が多いということで、帯広の推移は把握しているのか。また、自殺予防に効果的な療法の調査・研究と記載があるが、具体的にどのように取り組むのか。関連として、5大疾病の中に精神障害が含まれたが、このことについて触れた方がいいのではないかと思う。

【事務局】

推移については、今この場ではお答えできないが、担当部で詳しい状況を踏まえて、このような記載をしている。

調査・研究に関しては、療法の内容を含めて調査・研究をすると聞いている。

記述の中の詳しい内容については、こちらでは分からない部分が多く、詳細については説明ができないことをあらかじめ了解いただきたい。

【委員】

調査・研究を進めるという記載があるため、市民がこれを読むとどのように進めるのか疑問に思うだろう。

【事務局】

進めるというだけでは、見えにくいということで受け止めさせていただきたい。

【委員】

具体的には、一つには職場のメンタルヘルスケアの問題により、自殺者が増えてき

ているのはハッキリとしてきていて、そういうことに対する保健衛生活動をするということだと思う。

また、五大疾病の一つに精神疾患が入ってきているということで、これに関連して、うつ病に対して、職場で適切な対応をして、早めに専門医に看てもらおう、というような取り組みもここに入っていると思う。

【会長】

効果的な療法という表現があるが、表現としてはこれでいいものか。

【委員】

言葉的には、言い過ぎのような感じがする。

【事務局】

精神疾患については、「2-2-3 障害者福祉の推進」の施策にも関連する。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-1-2 医療体制の充実」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、何回かこの会議に出ているが、今回のこの文書は非常にすっきりとしていていい。何がいいと言うと、例えば、十勝圏域における地域医療の課題というのが書かれていて、そこで取り組むということが書かれていること。また、夜間急病センターの再整備についても、さらっと書いているがキッチリと入れている。

あとは、この内容について、早く対応してほしい。スピードの問題だと思う。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-2-1 地域福祉の推進」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、5行目「一層活かしてため」とあるが、言葉が何か抜けている感じがする。

【事務局】

「一層活かしていくため」が正しい。

【委員】

シニアボランティアの区分は、年齢か何かであるのか。

【事務局】

中高年層と認識している。分りやすくするため、注釈的なものをつけたい。

【委員】

高齢化社会に向かって、行政の縦割りを極力排除していく必要がある。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-2-2 高齢者福祉の推進」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、「市民実感度調査結果」では、ハード面での課題が現れているが、施策の課題と今後の取り組み方向について、ソフトの記載があるが、ハードの記載がない。これでいいのか。

【事務局】

第五期の帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて担当部で作業をしているが、基盤整備の考え方としては、在宅サービスばかりではなく、車の両輪の様に施設サービスも必要と担当部では認識していると思われるが、この中には記載がないので確認させていただく。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-2-3 障害者福祉の推進」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、北海道の障害者条例が今年の春から施行されており、その中で、自治体の役割も規定されているので、北海道の障害者条例のことが一文入っていてもいいのではないか。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-2-4 社会保障の推進」について、意見をいただきたい。

【委員】

国保財政の健全化について、5の「施策の総合評価」や6の「施策の課題と今後の取り組み方向」に記載があるが、健全化するために必要なことは、記載されていることだけではないと思う。社会現象として高齢者が増えていることや、病院のコンビニ受診といったこともあるかと思う。もっと違う視点も必要かと思う。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-3-1 子育て支援の充実」について、意見をいただきたい。

【委員】

障害をもったお子さん達がたくさんいる中、ライフステージに合わせたケアとともに、継続・連続したケア、一貫したケアが必要であると考えられるので、将来展望でもいいので、盛り込んでほしい。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「2-3-2 青少年の健全育成」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、「市民実感度調査結果に対する考え方」で、インターネットからの有害情報の氾濫などの記載があるが、これに対する具体的な記載がされていない。インターネット教育に関する事などがあるといい。

【委員】

「基本事業の取り組み内容」について、子ども110番の家がもっと組織的に機能するように横のつながりが必要だと思う。年に1回でもいいので、防犯や学校などの関係者の連絡会議のようなものが開かれ、横でつながる、地域で協力し合えるシステムとなる必要がある。

【委員】

一度、子ども110番の家になると、ずっとそのままになっている。この文章がいいとか、悪いとかではなく、地域として、どういう社会をつくっていくか、というディスカッションが必要だと思う。

【委員】

別な町で集団下校の時に、子ども達と子ども 110 番の家が顔合わせをし、挨拶をしてお互いを知るといふ取り組みをしていると聞いたことがある。

【委員】

見守り隊だと、4月に学校で集まって顔合わせをしているかと思う。見守り隊と同じように、学校区域だけでも、110 番の家がどこにあるかなどに取り組んでもいいのではないか。

【委員】

マップにはなっているが、関わっている大人同士のつながりが不足している。そこをつないでいくことが必要だと思う。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「3-1-1 農林業の振興」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、3行目に「国際競争力の強化」とあるが、「日本の食料基地」十勝・帯広でも一部の作物を除き、国際競争力を持つというのは厳しい。日本の場合、国際競争力をつけようとしても普通の作物では難しいと思う。そうであるのならば、ニーズに応える品質とか、有機を使っていくというような、「多様性とか多面性のある」という表現の方がいいと思う。

【委員】

十勝として、TPPの渦に巻き込まれていくと思う。10年後には、十勝だけでなく、農業人口が10分の1になるという話もある。国際競争力がないのなら、本当のことを書いていく必要がある。もう一つは、原料で出さないで、加工して付加価値をつけていくことが大事だと思う。

【委員】

ビートやジャガイモについては、地元で工場があり、加工して出している。小麦についても地元で製粉工場ができたりしてきているが、現状では、一部の野菜を輸出してはいるが、国際競争力があるとまでは言えない。

【会長】

私見だが、6の「施策の課題と今後の取り組み方向」の3行目については、「国際競争力の強化や」の部分削除し、「国内外の情勢の」とした方がいいのではないか。

【事務局】

農政の方では今、国際総合特区の申請をしようとしており、そのことと関連性があ

と思われるので、整理をさせていただきたい。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「3-1-2 工業の振興」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」の2行目、「こめため」とあるのは、「このため」か。

【事務局】

「このため」が正しい。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「3-1-3 商業の振興」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」について、地元紙でも取り上げているが、高速道路により札幌圏と帯広圏がつながると、人の流れの変化が予想されている。一般的な話として、衣類や靴とかいわゆる買回り品については、ドライブを兼ねて札幌や千歳などで買われるという一定の予測もある。高速道路の開通を踏まえて、そういう対策的なところも考慮した記述が必要ではないか。

【委員】

同じようなことだが、高齢者、公共交通機関でしか移動できない人に対する地域の商店街の魅力が必要だと思う。バスに乗って買い物に行く人は、高速道路で札幌や千歳などには行きにくい。高速道路を利用して大都市へ行くという人もいると思うが、逆に行けなくて、地域でしか買い物ができないという人もたくさんいる。そういう人達も大事にしてほしい。同じ商業の振興という中で捉えれば、こういう視点も必要ではないか。

【会長】

ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「3-1-4 中小企業の基盤強化」について、意見をいただきたい。

－ 意見なし －

【会長】

それでは、「3-1-5 産業間連携の促進」について、意見をいただきたい。

【委員】

「フードバレー」という言葉がないが、ここで使ってはいけないのか。

【事務局】

使っていけないことは特にない。

【委員】

まさに、ここがフードバレーの神髄の部分だと思われるが。具体的な取り組みが見えていないという市民もいる中、そういう言葉を記載することも必要だと思う。

「基本事業の取り組み内容」には記載があるが、「施策の課題と今後の取り組み方向」にも記載が必要だと考える。

【委員】

今後の取り組み方向なので、フードバレーの記述があってもいいと思う。

【事務局】

フードバレー自体がこれだけではなく、様々な分野に関連があり、まちづくり全体について関連するものであるので、ここで特出しされていない。市長の施策として方向性を表すことを考えると、どこに記載したらいいか内部で整理したい。

【委員】

関係するのであれば、どこでもいいのではないかな。

【委員】

どこでもいいと思う。具体的に皆さんに分ってもらうことが大切。

【委員】

いろいろなところに入れることによって、ここに関わってきているということが分るのではないかな。

【委員】

今まで、原料で売っていたものを製品にして売るとなると、農業、商工業、環境など全部に影響していく。もっと積極的に振興していかないとダメだと思う。

【会長】

ほかはよろしいかな。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「3-1-6 雇用環境の充実」について、意見をいただきたい。

【委員】

帯広だからというもので、雇用を生むものはあるのだろうか。

【事務局】

あまりないのではないか。

【委員】

新しい産業が生まれなければ、新規の雇用の増大はないと思う。農業が中心の産業構造としては単純すぎて、このままでは地域の発展はない。新しい産業をどう生み出すか考えていかなければならない。

【委員】

新しい産業を生むというのは、簡単なことではない。知人で半年は十勝、半年は東京で住んでいる人がいる。そういう人は実は結構いると思う。杉花粉もなく、健康とか環境をテーマとして売り込めば、交流人口を増やしていくことができると思う。そういう人が半年でもここで暮らしてもらえれば、新たなサービス業や産業が生まれていく可能性がある。

手法としては、交流人口を増やしていく施策に力点を置いて取り組んでいくことが現実的ではないのか。

【委員】

(6の「施策の課題と今後の取り組み方向」については) 臨時的な雇用の場の創出よりも、継続的な雇用の場の創出となるのか。

【委員】

雇用のところに入ってくるのかどうかは微妙だが、十勝が少なからず活性化していくための一つのきっかけには間違いなくなると思う。福島原発の関係もあり、避暑的な意味でも、今後、北海道に定住なり交流するというのはニーズとして出てくると思う。

【委員】

一般的には、交流人口を増やし定住に結び付けていくのが理想的だと思うが、帯広市がそういうことをできるのかと考えた場合、周辺の町村になってしまうのではないか。中心都市の帯広として何ができるのかを考えていく必要がある。

自分としては、やはり、原料があるのだから、製造業があって継続して雇用できる環境を作っていく必要があると思う。

【委員】

北海道の永遠のテーマだと思う。冬、雪で半年間埋もれ、生産活動が3分の1とかに減ってしまう。そこをどうやって知恵を出していくのかだと思う。

【委員】

別の観点になるが、ミスマッチという言葉がキーワード的に出てくるが、何がどうミスマッチなのか。

【事務局】

企業が求める人材像と、働きたいと思っている人の技能が合わないことなどを一般的に表している。

【委員】

雇い主側というよりは、求職者からの見方の方が強いのではないか。福祉や介護のケースでは、いい条件でも定着率が悪いことがあって、何がどうミスマッチなのか分らない。求職者が仕事を選び過ぎているという問題もあると思う。

いろんな要素がある中で、このような表現になるのかもしれないが、この記述だけでは何がミスマッチなのか分らない。

【委員】

若者は便利さや賑やかさを求めて札幌や東京など都会に行きたがる。給料だけの問題でないと思う。

【会長】

ほかはよろしいか。

— 意見なし —

【会長】

なければ、「3-2-1 中心市街地の活性化」について、意見をいただきたい。

【委員】

基本的に民間での取り組みに頼る部分が大きく、市が取り組めることには、限界があるのではないだろうか。

【委員】

ホコテンに結構、人が来るという記述があるが、実は、周りの商店街には人があまり来ていないということを知る。商店街の巻き込み方に工夫が必要でないのか。さきほどのミスマッチの話しでないが、何かミスマッチがあるのではないか。

中心市街地がどうあるべきかという本音の話をディスカッションする必要があると思う。

【委員】

難しいが、昔のように帯広駅の近くに高校や短大があり、交通体系も駅を中心としてあるというように、中心部に人が集まってくる姿がいい。中心街に横浜中華街のようなものがあれば、なおいい。

【委員】

中心部に買い食いができる場所とか、アンテナショップのようなものがあれば、若

い人が集まると思う。まちの中に集客する意欲的な施設がない。

【委員】

中心部を学生が昼間歩いている姿をほとんど見ない。自分も高校生の娘がいるが、自転車に乗ってどこへでも行っているようだが、中心部に来るという話はほとんど聞かない。若い人は、いい店があれば、遠くへでも行く。そういう店が駅前であれば普通に来ると思う。

実際、ホコテンをやって、人は来るが、通るだけで店に入って来ないのであれば、店にとっては邪魔になるだけだと思う。寂しいと思う。若い人を呼べる工夫が店側にも必要だと思う。

【委員】

ホコテンをやったら、中心部に来るということは、やはり魅力なり、そこの店にしかないというようなものが必要なのではないか。

【会長】

様々な意見が出たが、ほかはよろしいか。

－ 意見なし －

【会長】

なければ、「3-2-2 観光の振興」について、意見をいただきたい。

【委員】

6の「施策の課題と今後の取り組み方向」の5行目について、「道央圏での観光PRを精力的に」とある。具体策が重要であり、効率的なPRになるようにする工夫が必要だと考えられる。

帯広の観光協会もいろいろと取り組んでいるようだが、道央圏の人に見てもらえて何ほのものだと思うので、例えば、一定程度、市が関与して、道央圏の人がよく見るホームページなどの媒体に十勝の情報を載せていくような工夫、飲食店を挙げてPRしていく工夫、情報収集が必要と思う。ここの具体策が大事。来年、暖くなるまでが勝負だと思う。

【委員】

今年、福島原発事故の関係で、青少年のサッカー大会が十勝で開かれ、大きな経済効果があったと新聞で報道されていた。ああいうような形で、いくつか十勝で大会が開かれると違ってくると思う。

【事務局】

サッカーだけでなく、福島ではいろいろとスポーツの関係で合宿がされていて、今回、事故の関係で合宿ができないということで、帯広市として名乗りを上げ、交通費の助成などを行っている。ただ、恒常的な取り組みとしてはではない。

委員の話しの通りで、単純にPRだけではダメで、やり方を変えていくということが、まさに評価につながって、結果になっていくと思う。

【会長】

それでは、予定していた時間となったので、今日のところはここまでとし、次回は残った分について議論したい。

事務局から、何か連絡事項はあるか。

【事務局】

明後日、同時刻で隣の第5 A会議室で審議会を開催するので、出席方、よろしくお願いしたい。

【会長】

それでは、長時間、お疲れさまでした。以上で、本日の審議会を終了とする。